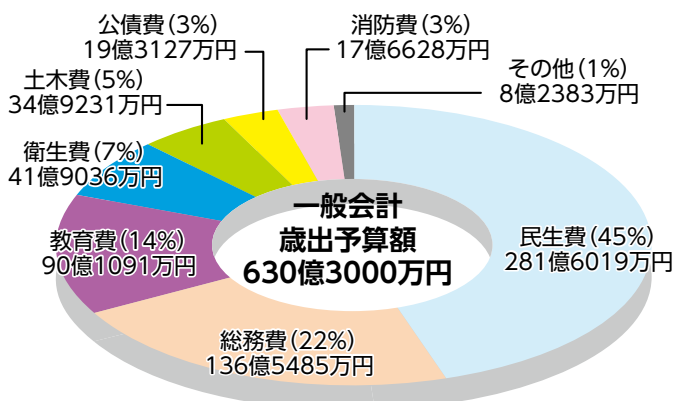


令和3年度 予算を可決

令和3年度の多摩市の予算(お金の使い方)について、予算決算特別委員会(議長を除く全員で構成)で審査を行い、原案のとおり可決すべきものとなりました。また、その他の3特別会計、下水道事業会計の予算案も原案のとおり可決すべきものとなりました。

令和3年度 各会計別 予算額



令和3年度 一般会計・特別会計 予算額(前年度比増減)

会計	予算額	前年度比増減
一般会計	630億3000万円	(6.7%)
特別会計		
国民健康保険	149億2198万円	(▲1.9%)
介護保険	115億2054万円	(1.9%)
後期高齢者医療	39億8655万円	(4.1%)
合計	934億5907万円	(4.5%)

令和3年度 下水道事業会計 収支額(前年度比増減)

	収入	支出
収益的収支	33億8701万円 (▲5.6%)	30億8664万円 (▲5.7%)
資本的収支	6717万円 (3.2%)	3億3051万円 (42.1%)

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

予算審査ではこんな話題がありました…

今後のTAMA女性センターの役割とは

コロナ禍においてDV等の相談状況や女性センターの認知度に関して質疑がありました。また、男性のDV相談件数が増加しているため、相談しやすい環境づくりを求めました。

女性にとって必需品である生理用品を購入できない「生理の貧困」と呼ばれる問題がコロナ禍で顕在化しています。防災備蓄品を活用して生理用品の無償配布と受け取りやすい体制づくりを要望しました。特に「子どもの貧困」という点で学校のトイレに配置を求めました。

各所管と連携し、ローリングストックを活用した取組みを検討したいと答弁がありました。

(総務費 TAMA女性センター運営経費)

犯罪の抑制・減少に向けて

多摩市内で発生している振り込め詐欺などの特殊詐欺や、盗難・不審者被害などの軽犯罪が頻発していることから、防犯対策についての質疑が多くありました。

定期的な防犯活動が犯罪減少につながることから、防災行政無線による注意喚起放送や市内を歩いて防犯の啓発を行う防犯パトロール、犯罪抑止に効果のあると言われている防犯カメラの設置・活用についての要望を行いました。

関係機関との連携を強化して取組んでいく旨の答弁がありました。

(総務費 防犯対策事務経費)

障がい児の敷地外学童クラブへの移動支援を

多摩市では現在、新設の学童クラブは小学校の敷地内に整備されていますが、既存の敷地外学童クラブも存在します。そして、2018年からは高学年の障がい児も学童クラブに通えるようになりました。しかし、入所判定基準が低学年児優先となっているために、入所できたとしても学校の敷地外の学童クラブへ通わなければならない、学校から学童までの障がい児の移動という問題が生じています。

安心して子どもを預けられる環境づくりのために、更なる入所判定基準の見直しや、学校と学童クラブの連携の下での、見守りや移動支援をすべきとの提案がありました。

(民生費 学童クラブ運営事業)

緑豊かな公園を守るために

令和2年夏頃から市内でナラ枯れ被害が確認され始め、12月には補正予算を組んで対応していますが、いまだに被害が拡大している現状です。近隣市でも同様な被害があることから連携した対応が必要ではないかという指摘もありました。公園管理をいただいているグリーンボランティアの方々へ防虫・防除に関する支援をしてほしいとの要望がありました。

また、公園に設置しているトイレについて、破損や老朽化した場所に対する対応方法やトイレトペーパーの試行設置についての質問もあり、試行を継続しながら有効性を確認していきたいとの答弁がありました。

(土木費 公園管理経費)